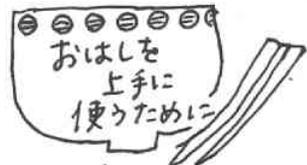




おはしの持ち方

こどもの食事のマナーは毎日繰り返すことで身につくものだと思います。日ごろの食事中で、正しい食具の扱いについて個々に対応するように努力しています。こどもはいつもやってみたい！という意欲を持っています。そこをうまく引き出すと同時に食具の呼び名や扱い方を身につけていきたいと考えております。ご家庭でも おままごと遊びなどで 楽しく練習していけたらいいですね♪ お箸を使っている子も これから使っていく子も 正しく持てるよう大人側の配慮が必要です。図を見て参考にいただければと思います♪

◆ ◆ ◆
お箸のマナー
 ◆ この機会にお子さんと一緒に
 ◆ はしの正しい持ち方、マナーなど
 ◆ チェックしてみてくださいね♪
 ◆ ◆ ◆



お箸を持っていて 疲れてくると、握り箸などになってしまうこともあります。そういう時は無理せず、フォークにするなど西儀してあげてください。
 強^{あまり}制すると食事が楽しくなくなってしまう。

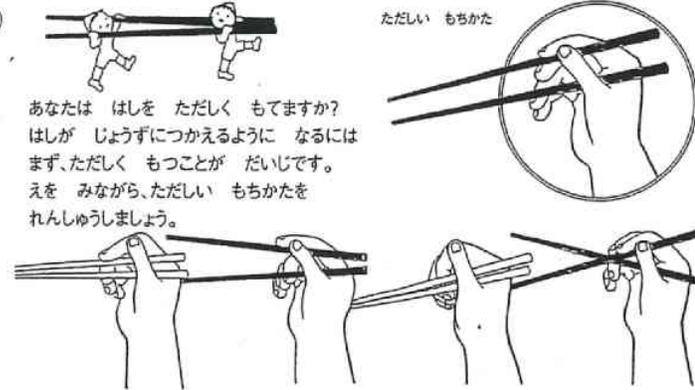
基本は、楽しくおいしく食べられることが一番です😊

おはしの使い方を伝える時は 向い合うより、子供の隣に並んで座ると、持ち方などがより伝わりやすくなりますよ！

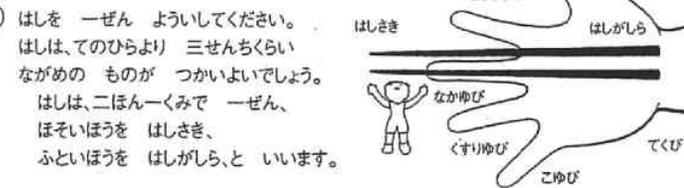
おはしを使いたいのにより、うまくいかず、子供がイライラすることもあります。焦らず見守り、少しでもできたらぜひ褒めてあげてくださいね。

お箸などの持ち方だけでなくマナーも身につけていきたいですね。(姿勢、器を持つ、ひそをつなない など)

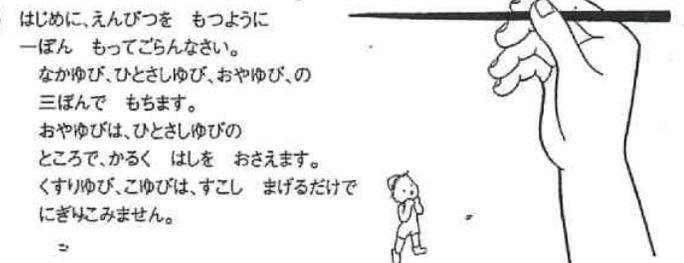
①



②



③



④

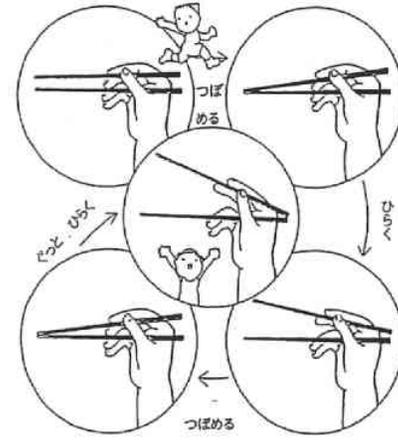
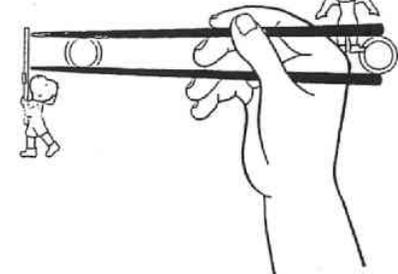
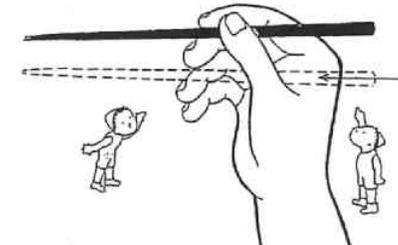
つぎに、やじるしの ところに もう一ほんの はしを いきます。 はしの はんぶんくらいの ところを かゝる まげた くすりゆびの つめの よこに あて、 はしがしらのほうを おやゆびの つけねで はさみます。

⑤

ほら、これが ただしい もちかたです。 はしさを きちんと そろえてください。 はしがしらの あいだを せまく もつと、つかいにくくなります。ちゅういしましょう。 はしが ただしく もてるようになつたら、一ほんずつ もつのではなく、二ほん どうじに もちます。

⑥

では、つけて うごかしてみましよう。 はしの さきを、つぼめる、ひらく、 つぼめる、ひらく……… くりかえし じょうずに できるように なれば もう だいじょうぶ。



子どもに合った 「はし」

〈〈 適した長さ 〉〉
 子どもの手の大きさより、2~3cmくらい長い はしが、子どもにとって 使いやすいといわれています。

〈〈 適した形や材質 〉〉
 丸い はしは、挟んだものが滑りやすいため、四角い形の方が使いやすい、お勧めです。また、子ども はしをかむこともあるので、天然素材(木や竹)でできた物がよいでしょう。 はしの先に割みや、ざらざらした部分があれば、滑りにくく、使いやすいです！